

夏の日差しが厳しい中、子ども達は元気にプール遊びを楽しんでいます。  
プール遊びで「動」、お茶のおけいこで「静」。どちらも大切なぞうぐみさんの経験の時間ですね。

今月は、**お運びさん(亭主)**のおけいこをしました。帛紗(ふくさ)を腰につけ、古帛紗(こぶくさ)にお茶碗(実際にお茶が入っています)をのせて運ぶ練習をしました。初めてのことに緊張の表情を見せながら、**お客様を『もてなす』**経験をしました。

## \*8月のお菓子\*



・貝  
・カニ

## \*8月のお花\*



・金糸梅

## 帛紗(ふくさ)



## 古帛紗(こぶくさ)

きんらん どんす めいぶつきれ  
金襴や緞子などの名物裂  
といわれる裂地きれじで作られています。



『お菓子どうぞ』

帛紗は、三角に折って腰につけます。折り方や向き(左右)を確認しながらつけましたよ  
※帛紗は、お運びさんのしるしです



お茶碗をそ〜っと  
古帛紗にのせて



そ〜っと そ〜っと  
運びます



『お茶どうぞ』

## \*豆知識「和・敬・清・寂」

お茶の心を表す大切なことばです。千利休が500年位前に4つの文字で言い表しています。  
お茶を学ぶということはこの心を学ぶことです。

**和**…お互いどうしが仲良くすること。わかり合えることです。

**敬**…好き嫌いを超えて、相手を敬うやまう心です。

**清**…心の中が清らかであること、自分自身が、自分の力で、自分の気持ちを浄きよめることを努力することです。

**寂**…心の中がどしんと落ち着いて、何物にも動じない心、いざと言う時に後で悔やんだり、失敗しないためには、予め準備をして心のゆとりを持つことが大切です。